



# 燦さんらん 爛

## 幼児との触れ合いを通して自身を見つめるきっかけに 3年保育園訪問

12月11日(水)、3年生が家庭科の学習の一環として、大川西根、内小友の各保育園を訪問し、幼児との交流学習を行いました。昨年度はインフルエンザの流行により、内小友保育園の訪問しか叶いませんでしたが、今年は両保育園での交流が実現でき、嬉しく思っています。

それぞれ自分の出身保育園に訪問した3年生は、「だるまさんが転んだ」などの身体を使った遊びや、「お絵かき」「ブロック遊び」などで、園児たちと楽しく触れ合うことができました。校長が様子を見に行ったときは、園児に視線を合わせて話をじっくり聞いてあげている生徒や、何度でも同じ遊びに付き合っている生徒など、相手意識をしっかりとって園児たちに接している生徒の姿がたくさん見られました。引率した先生方によると、初めは互いに緊張した様子だったようですが、一緒に遊ぶうちにどんどん打ち解け、帰りの時間はどちらも名残惜しそうだったとのことでした。

3年生の生徒たちも、今回の幼児との触れ合いを通して、自分自身の幼児期からの成長を振り返ったり、未来の保護者として子どもとどう関わっていくのかを考えたりするよい機会になったと思います。今、卒業が近付いている3年生が、高校進学やその先の生き方をイメージする上でも、今回の体験を役立ててくれればと思います。

### 大川西根保育園にて



### 内小友保育園にて





## 俳句からイメージを広げる授業を提示 指導主事計画訪問(音楽)



12月9日(月)、南教育事務所仙北出張所のK.H指導主事をお迎えし、2年音楽の授業提示と授業研究会を行いました。

今回提示したのは、創作分野で、「言葉の抑揚と箏の音色を生かして、まとまりのある旋律をつくろう」という題材の授業です。松尾芭蕉の有名な俳句「古池や蛙飛びこむ水の音」の言葉の抑揚やイメージを生かし、箏を使って旋律をつくるというもので、2~3人のグループになった生徒たちは、前時に考えた各自の旋律を基に、より言葉の抑揚や自分たちが共有したイメージに旋律を近付けるよう試行錯誤を繰り返していました。また、グループ同士の交流の場面では、互いの考えた旋律についてよいところを認め合うなど、意見交換を通じたよい交流も行われていました。



授業後に行われた授業研究会では、K指導主事より「男女分け隔てなく仲がよく、50分間集中して創作の学習に向かっていた」「記譜力(楽譜を書く力)が高い生徒が多く感心した」「今回は俳句を題材に取り入れていたが、この学習を音楽科だけで完結させるのではなく、国語科の学習など他教科にもつなげ、教科横断的な学習に発展させられるとよい」といった感想や助言をいただきました。

今年度の指導主事訪問は、今回が最終となりましたが、これから年度末に向けて更に研修を重ねて、授業改善に努めてまいります。



授業研究会

12月も間もなく折り返しとなり、冬休みまであと2週間を切りましたが、先月末から今週にかけて、学校では様々なテストを行いました。

## 冬休み前の力試しと課題克服のために 各種テストと学習状況調査を実施

11月28日(木)は3年生の「第4回実力テスト」でした。高校入試3か月前に行われたこのテストの結果は、進学先を選択する上で重要な目安となります。3年生の皆さんには、自分の進路選択の参考にするはもちろん、入試本番に向けて課題を克服していくためにも、あと3回の実力テストを活用してほしいと思います。



12月5日(木)には3年生が、12月12日(木)には1、2年生が、「後期中間テスト」を行いました。定期テストは、一定の期間における学習(授業)の習熟度を測るものであり、評価にもつながります。また先生方にとっても、生徒がどれくらい理解したかを確認し、今後の指導につなげることができることから、学校でも大変重要視しています。3年生にとっては、前述の「第4回実力テスト」から1週間後の中間テストでしたが、実力テストと同様にしっかり取り組んでいることが分かる成果が見られました。1、2年生も努力の成果が発揮されていることを期待しています。

3年生の後期中間テストと同日の12月5日(木)、1、2年生は「秋田県学習状況調査」に挑みました。これは、全県の小学校4年生から中学校2年生までの全ての児童生徒を対象に行っているもので、この調査から得られる学習状況を基に学習指導上の留意点を明らかにし、秋田県の児童生徒の学力向上を目指しているものです。この調査では、国語、社会、数学、理科、英語の5教科のほか、日頃の学習への意識や取組状況に関する「質問紙」による調査も行いました。この学習状況調査は、定期テストなどとは傾向の違う秋田県の高校入試(正式には「秋田県公立高等学校入学者選抜学力検査」といいます)に近い出題内容であることから、この調査も学校では重視しています。結果については、集計がまとまり次第、各自に個人票の形で渡す予定です。



テストを行うと、どうしても「点数」や「順位」に目が行きがちですが、各自が自分の「課題」や「弱点」を知ることも必要です。冬休みの課題等については、PTAの際にもお伝えしておりますが、与えられた課題をこなすだけでなく、こうしたテスト等の結果から自分にとって必要な学習を考えて取り組むことも心がけてほしいと思います。